

「ココロ合せ♡チカラ合せ」 防災ネットしょうなん

BOSAI Never Ending Tension~終わりにき緊張感



ヒマワリはまちのシンボルです

2025 (令和7) 年10月25日／第111号

自然災害に強いまちづくりをめざしましょう！

風早北部地域ふるさと協議会

本当に必要な帰宅困難者対策は駅等のターミナル周辺でなく大型商業施設の可能性がある (市行政はそうした細部に気づいていないのかもしれませんが)

本年11月11日に柏市は、柏駅周辺を会場にして帰宅困難者対策をテーマにした防災訓練を実施の予定で、300名をその訓練体験者として鋭意公募中です。より多くの地域住民の皆さんの本訓練参加をお願いします。

私ども風早北部地域ふるさと協議会では、市が行う今回の内容自体を否定するつもりはないですが、参加者数の上限「300人」が本当に実践的訓練になるの？との素朴な疑問が先ずはあります。また今回の訓練対象者が柏市勤務＝自宅は市外在住の可能性

が高い電車利用の通勤者を想定していること、すなわち、事実上柏在住市民と必ずしもいえない方々を対象にした訓練であることにも疑問があります。さらに、発災時により切実なのは、車両移動中の多くの被災者が押しかける場所が駅/その周辺よりも大型商業施設であり、そうした施設が市内に点在していることでは、該当商業施設を会場にした帰宅困難者対策を講じるべきと主張します。

これに対して柏市は、こうした車両移動の一般市民を帰宅困難者として定義しておらず(そのこと自体も問題と考えます)、駅頭の交通機関ターミナルで困窮する人々という狭義の帰宅困難者に限定した訓練であることも気になります。更に、柏市が駅前再開発を推進している背景から、駅周辺の活動を意図的に優先させているのでは？とのうがった見方もできそうです。

トイレや水、食料品がある程度設置され、駐車場が完



防災ネットしょうなん
2025.10.25 付第111号

備された大規模商業施設には、道路渋滞で立ち往生した車両移動中の市民であふれかえることは容易に想定され、柏市のこうした限定的な訓練内容では、決して災害本番での対応が十分機能するとはいえないと懸念します。私どもは、昨年度にセブンパークアリオ柏で実施した市の総合防災訓練を、この場所での帰宅困難者を想定した訓練内容に変えて実施すべきことを改めて強く要望します。併せて、災害発生時に大けがをしないための普段の訓練や市民への呼びかけの徹底も強く求めます。

上記内容を含め、現時点において当会がまとめた「私ども風早北部地域住民から柏市長宛ての防災関係要望（骨子）」を以下に紹介します。

* * * * *

風早北部地域住民からの防災関連の柏市長あて要望事項（中間まとめ）

年内には市長宛て要望書を提出の予定です。

今年に入り、南海トラフ巨大地震、首都圏直下型地震、更には富士山噴火の危険性がそれぞれの専門家から発せられ、政府や東京都はその発災の恐れをもっていち早く生成 AI を駆使し、シミュレーションの動画を公表しています。大規模地震等の自然災害が、今まさに私たちを襲ってくることに付き想定し、備えを万全にしなければなりません。それは公助である市行政も同様であると考えます。

以上を踏まえ、私たち風早北部地域に住む住民からは、以下の内容につき
柏市が真摯かつ早急に対応されることを強く要望します。

1 今年度実施の帰宅困難者を想定した柏駅やその周辺での訓練につき、訓練実施後は早急にその実施結果と訓練の効果等の評価(※)を行うべきと思います。私たちは、今回柏市が実施した帰宅困難者対応訓練では不十分と考えます。駅頭の公共交通ターミナル以上に、大型商業施設が帰宅困難者であられかえる実情が必至であるためです。昨年実施したセブンパークアリオ柏やその他の大型商業施設を会場にした帰宅困難者対応訓練の実施を求めます。

2 災害時に大けがをしない取り組みとして、屋内家具等の転倒防止策促進を求めます。併せて、市内各地域で官民協働での大規模災害発災直後の住民安否確認が広範囲で行われ、被災状況の把握が市全体でスムーズに進むよう、日頃の各地での防災訓練実施の徹底を市が俯瞰できるような市職員等の体制整備を強く要望します。

3 大規模な自然災害の発生で、国内の物流が長期間停止、停滞する状況を想定し、市内に十分な備蓄品が整う環境の整備を、市(公助)、地域団体(共助)、市民(自助)が一体となって行うような、災害への市民全体での備えの推進を行政が音頭をとって実施されるよう、強く要望します。

(※ 評価の方法につき既存の枠組みでしたら、柏市防災会議での議題とし、結果を来年度の活動や予算に反映すべきと考えます。